

「環境にやさしい農産物の一斉販売」により消費者にPR

生産者団体、卸・小売事業者等と連携し、有機栽培や特別栽培等の環境に配慮して生産された農産物を県内の各小売事業者が期間を決めて一斉販売することにより、消費者の理解促進を図る。

○ 施策分類

みどりの食料システム戦略

○ きっかけ・背景、課題の把握

有機栽培や特別栽培等の農産物は、関心がある一部の消費者の購入に止まっている。

県内小売事業者の垣根を越え、多くの消費者の目に触れるよう期間限定で一斉販売し、地球環境問題を考えるきっかけを作り、環境に配慮して生産された農産物の生産拡大につなげる。

○ 取組の内容

鹿児島県拠点が事務局を務めるみどりの食料システム戦略推進鹿児島連絡協議会の取組として、構成員である県内6小売事業者11店舗で、有機、IPM栽培、K-GAP認証（かごしまの農林水産物認証制度）農産物を1月26日～28日に一斉販売。一部の店舗では生産者による対面販売を行い、全店舗で消費者アンケートを実施。実施に当たり、地方紙、MAFFアプリ・Instagram等で情報発信。

○ 効果・成果、今後の方向性

これまで環境にやさしい農産物を取り扱っていなかった量販店と生産者、卸売業者、仲卸売業者間の当該農産物の流通に係る新たなつながりや、特設コーナーでの販売により消費者が目に触れ購入できる場を提供したことで、消費者の理解促進につながった。

この取組を単発で終わらせることなく、今後も関係者が連携し小売事業者数や取組期間を拡大しつつ、継続していけるよう協議会事務局として支援する。



一斉販売チラシ



拠点HPで環境にやさしい農産物の生産状況を動画配信



MAFFアプリ・Instagramで情報発信



一斉販売の状況



のぼり旗

体制図

みどりの食料システム戦略推進鹿児島連絡協議会

